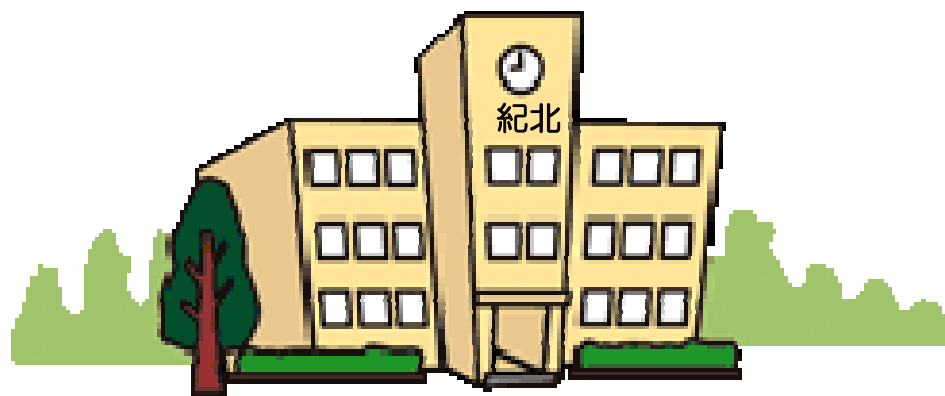


きほくしえんがっこう

とりくみ

# 「紀北支援学校コミュニティ・スクール」の取組



わかやまけんりつ

きほくしえんがっこう

## 和歌山県立紀北支援学校

こうちょう

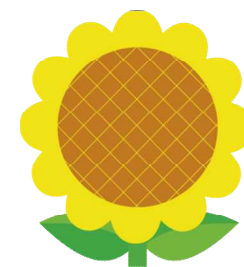
よねだ

よしひろ

校長

米田

良博



## 本校の場所・校区等

和歌山県の北部に位置する

- 和歌山市紀ノ川以南  
(高積中学校区除く)
- 海南市 (旧下津町除く)
- 紀美野町

○校区内小学校数 37校

○校区内中学校数 15校

○校区内義務教育学校 1校

知的障害教育部・肢体不自由教育部  
併設の特別支援学校



昭和48年開校  
特別支援学校

県内でも歴史ある

今年度開校  
45年目



# 子供をとりまく環境や学校が抱える課題

複雑化

学校だけでは  
解決できない！

困難化



学校

和歌山市冬野

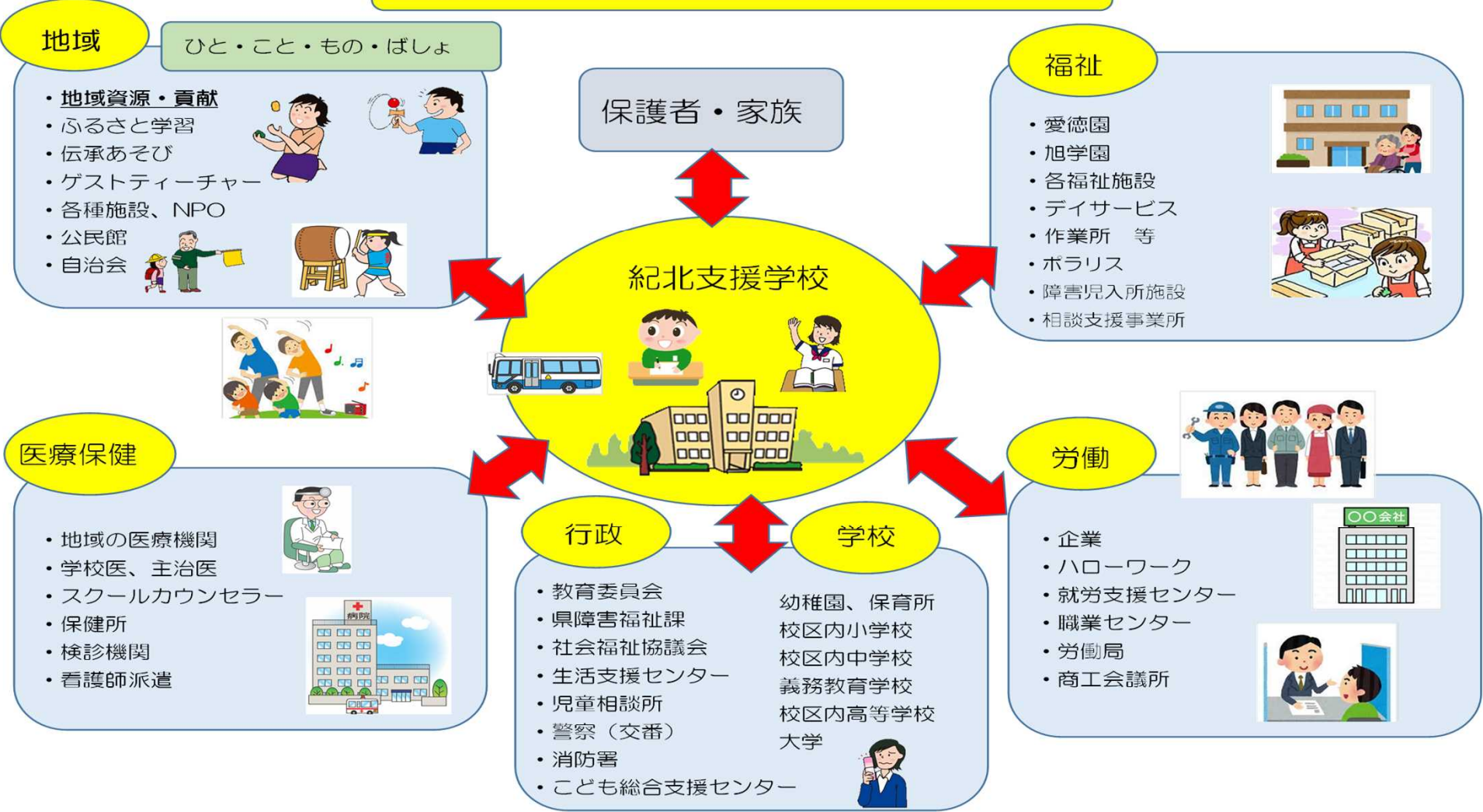


地域

学校近隣地域  
校区域



学校と地域、福祉、医療、行政、労働等との連携



# 紀北支援学校「学校運営協議会」の設立（平成29年度～30年度）

授業づくり・授業改善  
(アクティブラーニング)

PDCAサイクル  
の構築

キャリア教育の推進

- ・教育課程
- ・あいさつ運動
- ・整理整頓、清掃等
- ・進路に向けて

地域貢献  
施設での演奏会  
清掃活動  
センター的機能

地域資源の活用  
ひと・もの・こと  
・ゲストティーチャー  
・アドバイザー  
・公共施設

高等部作業学習の充実  
売れる本物の商品開発  
教員の意識改革  
→企業と学校のコラボ

危機管理  
(ヒヤリハット)  
・集約の方法  
・アクシデント防止へ

学校経営  
ビジョン

課題

経営ビジョン  
や課題解決の  
応援団はこの  
人だ!

学習指導  
支援員

企業社長

社会福祉法  
人理事長

商工会議所

自治会長

元学校長

PTA会長



## 平成29年度 学校運営協議会の主な取組について

### 第1回目

きのくにコミュニティスクールについて（説明）  
紀北支援学校経営計画書の提案・承認 ネットワーク・人材バンク



### 第2回目

高等部作業学習授業参観①  
キャリア教育の取組について（協議）

### 第3回目

高等部作業学習授業参観②  
作業内容、製品等について、人材バンクについて（協議）（紹介）



### 第4回目

学校経営計画書の達成状況について（説明→了承）  
高等部作業班の製品の検証、職員研修会の実施へ →次年度へ

## ★高等部作業学習授業参観を経て



○生徒たちは頑張っていた。応援してあげたい。

\*「支援学校の生徒が作った作品」（という思いで）買ってもらう発想ではだめ。

\*企業に負けない「本物」を作って認めてもらう。買ってもらう。

○売れる商品作りが必要。値段の設定も大事。

\*原価率（もうけ）を考える。デザイン性を重視する。

\*付加価値（生徒の感性をみがく）をつけて、少し高くても売れる物を作る。

**（成果） →高等部で協議。試作品の製作→提案（粗さあり）**

**→再製作→再々製作→デザイン性確認。**

**★（生徒）売れる商品→いい物を作って販売。製作意欲向上。**

**自己有用感。考える力 → 授業改善へ**



協議の内容（委員から出された意見等）②

本物作り！

○木工班の「木箱」は大切。箱によって中身（商品）が高級に見える。本社製品の箱を作ってほしい。



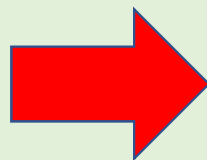
スライド式

試作品数回 改良中

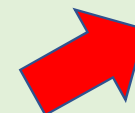
- かごのデザイン性をあげる（柿渋染め）
- 作業班どうしのコラボが必要。  
紙工班のかご＋縫工班の布袋（きんちゃく）



学校運営協議会までの製作品



意見を受け、改善した作品



柿渋染めの和紙を  
貼り付ける（デザ  
イン性アップ）

協議の内容（委員から出された意見等）④

## 本物作り

○園芸班へ。土や野菜作りなどを指導していただける人材（地域の農家の方）を紹介する。（委員）

紀北支援学校人材バンク

☆今年度依頼して来校。作業の様子を見学・指導をいただいた。土壌検査の方法、販売ルートの紹介等をいただく。  
→土壌調査→アドバイス。堆肥を公共施設から譲渡取組中。



★（成果）生徒の作物育成意欲が向上（店頭に並ぶイメージ↑）  
職員 指導内容の検討 → 「授業改善」へ

- 「キャリア教育の視点」から  
企業において必要な人材、学校在学中に培うべき  
「力」について（意識しているがまだ不十分）
- ・（委員）職員の意識改革が必要
  - ・（学校）企業の厳しさを教えてほしい（人材バンク）
- 今年度、企業社長（運営協議会副会長）に  
職員研修会の講師を依頼。厳しさの生の声を聞く。
- ☆「6S」（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、  
セイフティー（安全））を各学部で共有・確認！。
- 職員の意識改革へ

○企業において「あいさつ」は大切

本校取組（3年目）の「あいさつ運動」

→大きな声であいさつしてくれる。

→学校が明るくなった感じ。（委員）

→運動だけでなく、日ごろも「あいさつ」が自然に出るように！

★（取組・成果）毎年度続けるとともに、  
「あいさつ」の定着を図る。



朝のあいさつ運動の様子

Q「あいさつ運動を続けての感想は？」 「する前と今と違うところは？」

- あいさつしたら毎日、「すっきり」した気持ちになる。
- 声を出したら、元気になる。
- いろいろな人と会ってあいさつして顔を覚えられるから、今度友だちになれるかも。
- あいさつ運動したら「すがすがしい気持ち」になった。
- 勉強になった。 ・声（のど）がはれた。
- あいさつ運動をしようと思って、「遅刻」しなくなった。
- 人にあいさつすることが、自然になった。
- 朝から気持ちがよい。
- みんな、あいさつを返してくれて、うれしい。（自己肯定感）
- やる前はみんな「元気ない」と思ったが、今はみんな笑顔がみられた。



## 成果と課題①

### ○「ものづくり」（作業班）に対する職員意識改善

→「支援学校の生徒が作ったものだから買ってもらえる（考え）」のみではなく、「本物（質、デザイン、ニーズのあるもの）を作る。」

→ 「できる製品」から「求められる製品」へ



☆作業学習「授業改善」の方向性へ  
主体性・考える力・判断する力



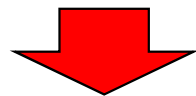
## 成果と課題②

### ○地域資源「紀北支援学校人材バンク」

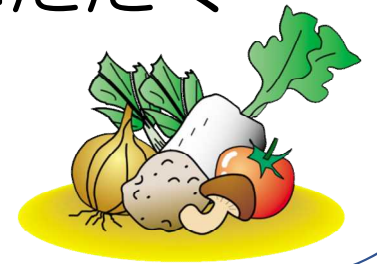
(例) 農園芸の専門的ノウハウを有する農家の方から  
「味」や「見た目」で売れる作物（品質のよい物）

→まずは、土壌改良「専門業者の紹介」

→販売ルート（地域のJAなど）を紹介していただく



☆生徒の作業意欲向上へ→授業改善へ





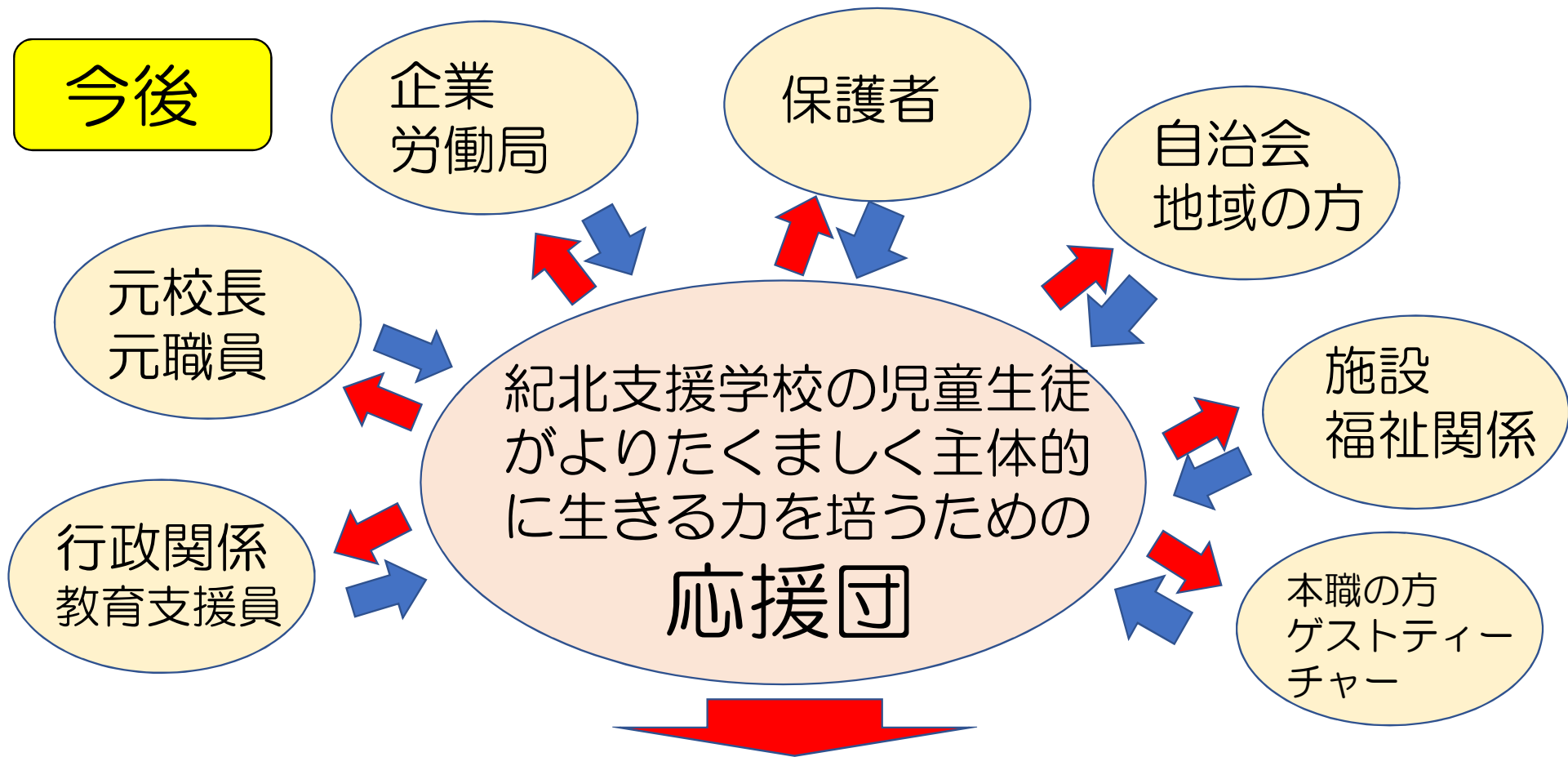
## 成果と課題③

### ○地域貢献をめざす（今年度の課題）

- 高等部作業班が培った「力」を地域で発揮する。
- 小学部児童による地域の清掃活動。
- 中学部の高齢者施設訪問演奏（和太鼓）など



○支援学校の理解  
○児童生徒の「自信」  
○自己有用感  
→よいよ授業づくり



- それぞれの立場・職の方からご意見・アイデアをいただき、子供に返す。
- 問題やトラブルが起こった時に問題解決の手助けをしていただく。
- 紀北支援学校人材育成バンクを増やしていく。  
→「授業改善」につなげる。「学校力」の向上へ